

平成27年 2級土木施工管理 実地試験(学科記述問題)

必須問題

問題2 土工に関する次の文章の()の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句又は数値を、下記の語句又は数値から選び解答欄に記入しなさい。

- (1) 土量の変化率(L)は、(イ) (m³) / 地山土量 (m³) で求められる。
- (2) 土量の変化率(C)は、(ロ) (m³) / 地山土量 (m³) で求められる。
- (3) 土量の変化率(L)は、土の(ハ) 計画の立案に用いられる。
- (4) 土量の変化率(C)は、土の(ニ) 計画の立案に用いられる。
- (5) 300 m³の地山土量を掘削し、運搬して締め固めると(ホ) m³となる。

ただし、 $L = 1.2$ 、 $C = 0.8$ とし、運搬ロスはないものとする。

[語句]

補正土量、配分、せん断力、累加土量、保全、
運搬、200、掘削土量、資材、ほぐした土量、
250、締め固めた土量、安全、240、労務、残土量

解答

イ = ほぐした土量

ロ = 締め固めた土量

ハ = 運搬

ニ = 掘削土量

ホ = 240

地山土量の運搬時のほぐし土量は、 $300 \times 1.2 = 360$

地山に対する締め固め度は、 $300 \times 0.8 = 240$

問題3 軟弱な基礎地盤に盛土を行う場合に、盛土の沈下対策又は盛土の安定性の確保に効果のある工法名を5つ解答欄に記入しなさい。

ただし、解答欄の記入例と同一内容は不可とする。

解答

ペーパードレーン工法

サンドドレーン工法

盛土荷重載荷工法

押え盛土工法

置換工法

軽量盛土工法

敷設材工法

サンドマット工法

深層混合処理工法

緩速施工法

表層混合処理工法

固結工法

石灰パイル工法

この過去問は受講者専用のページです。
お申し込みされますと全ての過去問がご覧頂けます。
お早目のお申し込みお待ちしております。

受講お申込みはこちらから



<https://www.sekou-net.jp/entry/>